

# 質疑回答書

令和2年4月23日

契約番号 2020000142

件名 大山田B&G海洋センター排水設備改修工事

質 疑	回 答
<p>1 仮設工事ですが軽量鋼矢板の土留めとなっております。しかし、構造物の取壊しであり、自立式土留めの工法でなければ施工できません。発注者の考えを明示願います。</p>	<p>1 本工事の山留工法は、簡易山留工法を計画しておりますが、掘削時等の土質に応じて施工検討を行います。</p>
<p>2 混合廃棄物の処分量について、1式となっておりますが発注者が想定している処分量を明示願います。</p>	<p>2 廃プラ(主に浄化槽ろ材)、廃FRP(浄化槽本体)、混合(コンクリートがら・機器類・塩ビ・電線等)等で 16.0 m<sup>3</sup>程度の発生材を想定しております。</p>

※この回答に対する質問は受付できません。